



No.153

平成28年6月10日

議会広報

いえとん



議会広報

いえとん

第153号
平成28年6月10日

▲第24回伊江島一周マラソン大会

伊江村婦人会
婦人パワーで島を盛り上げよう

▲第21回伊江島ゆり祭り

▲伊江村婦人会総会

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ◆平成28年度予算……………P2 | ◆意見書……………P16 |
| ◆予算委員会質疑……………P4 | ◆研修報告……………P19 |
| ◆賛成討論及び反対討論……………P5 | ◆新企画『ワッタウムイ』……………P19 |
| ◆一般質問……………P6 | ◆議会の活動……………P20 |
| ◆議決結果……………P14 | ◆題字提供はこの方……………P22 |

発行／伊江村議会
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38
TEL:0980-49-2924
編集・印刷／(有)サンエス
TEL:098-889-7421



▲題字を書いていただいた知念ハナさん(東江上(モンヤー)(イズミカワ))

題字執筆者紹介

知念ハナさん(大正4年2月10日生まれ満101歳)
100歳を過ぎても、自分の事は自分で行なわれ、他の人への気づかいも忘れない思いやりのあるハナ様です。題字も見本なしですらすら書かれ、とても101歳とは思えない頭の良い方です。



▲グループホームの仲間と楽しむハナさん

議会事務局職員の異動

島田勝雄事務局長が定年退職をされました。議会事務局在職期間中(平成24年から4年間)は手腕を発揮し、職責を全うされました。37年余の公務員生活大変ご苦労様でございました。後任には島袋裕次局長が着任しました。今後ともご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。



どうぞ傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



TEL 0980-49-2924(直通)

編集後記

4月から議会事務局長に拝命されました。18年ぶりの庁舎勤務となり、ほど良い緊張感を持ちながら「初心忘るべからず」の気持ちで日々勉強中です。議員の皆様をしっかりとサポートできるよう微力ながら精一杯頑張ります。村政並びに議会をご理解いただくうえからも多くの皆様の議会傍聴を心よりお待ちしております。

議会事務局長 島袋裕次

平成28年 第2回 3月定例会

一般会計は56億200万円

前年度比1,394,000千万円の減額予算

平成28年度各会計の当初予算案は、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託され、執行部に関係資料の提出や説明を求め、集中的に審査を行いました。

その結果、付託された6議案はすべて原案のとおり可決されました。

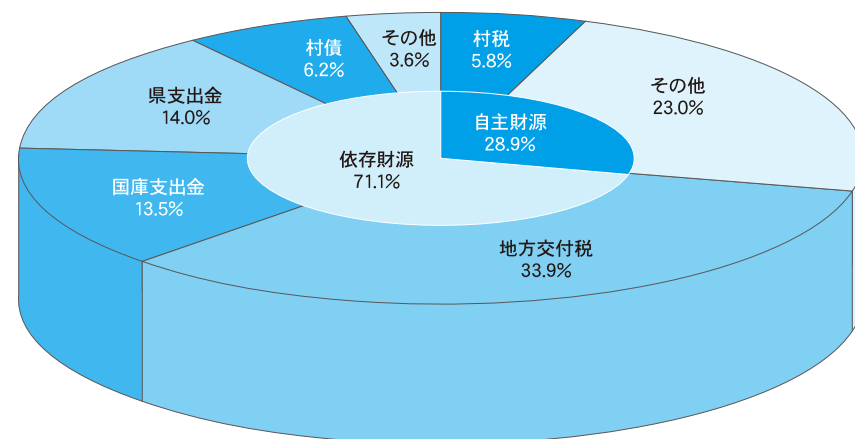
一般会計 歳出内訳(単位/千円)

議会費	71,677
総務費	749,003
民生費	943,573
衛生費	327,829
労働費	1
農林水産業費	866,657
商工費	246,202
土木費	349,605
消防費	27,818
教育費	1,494,051
災害復旧費	3,502
公債費	455,181
諸支出金	16,901
予備費	50,000
合 計	5,602,000

一般会計 歳入内訳(単位/千円)

村税	325,329
分担金及び負担金	21,897
使用料及び手数料	92,258
財産収入	113,819
寄付金	4,002
繰入金	980,703
繰越金	1
諸収入	78,264
自主財源合計	1,616,273
地方交付税	1,896,312
国庫支出金	757,656
県支出金	781,546
村債	350,000
地方譲与税	39,954
利子割交付金	463
県民税配当割市町村交付金	968
県民税株式等譲渡所得割交付金	891
地方消費税交付金	74,796
ゴルフ場利用税交付金	1,902
自動車取得税交付金	7,279
国有提供施設等所在市町村交付金	72,124
地方特例交付金	236
交通安全対策特別交付金	1,600
依存財源合計	3,985,727
歳入合計	5,602,000

歳入予算額の状況



平成28年度予算総額

80億3766万5千円(6会計)を可決

平成28年第2回(3月)定例会を、3月8日から18日までの11日間の会期で開きました。

本定例会では、平成28年度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、平成27年度補正予算など38件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。(審議結果の概要は14ページをご覧ください。)

また、開会初日には村長の施政方針が表明されたほか、一般質問が行われ、8人の議員が村の対応や考えを問いただきました。

平成28年度 会計別当初予算

会 計 名	予算額(千円)	前年度比増減額(千円)
一般会計	5,602,000	-1,394,000
診療所特別会計	310,000	20,000
国民健康保険特別会計	1,133,042	-7,513
後期高齢者医療特別会計	66,483	301
水道事業会計	211,511	-10,635
船舶運航事業会計	714,629	30,471
合 計	8,037,665	-1,361,376

☆一般会計と特別会計

一般会計は、村税などの収入をもとに、一般的な各種事業の事務を処理するための会計。

特別会計は、受益と負担の関係を明確にするため国保税などの特定の収入をもとに、特定の事業の事務を処理するための会計

☆歳入と歳出

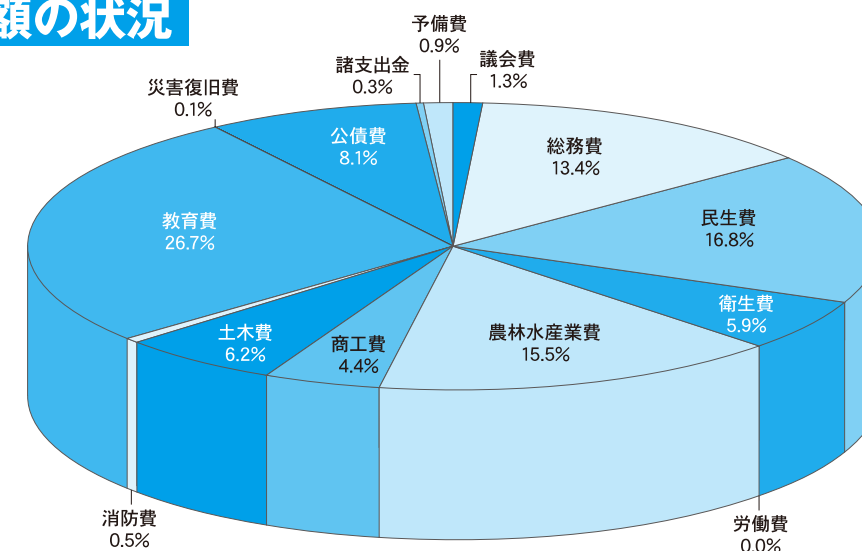
国又は地方公共団体(県、市町村)の一会計年度中における収入と支出

☆自主財源と依存財源

自主財源は、村が自主的に徴収または収納することができる財源のことで「村税」、「諸収入」など

依存財源は、国や県から交付されたり、割り当てられた財源のことで「地方交付税」、「国庫支出金」、「村債」など

歳出予算額の状況



反対 討論

一般会計予算案

10番 名嘉 實 議員

本予算案は56億200万円、平成27年度当初予算比で13億9,400万円、19.93%減となっております。その主な要因は、屋内運動場の完成による予算減によるものであります。本予算案にも議員の一般質問等で取り上げられた施策は、予算化されていることについては評価するものでありますが、村長の施政方針で喫緊の課題と述べられた子どもの貧困対策については、給食費の保護者負担の軽減など、さらに充実すべき課題が数多くあると考えます。子どもの貧困の連鎖を断ち切るための行政の支援の拡充を求めるものであります。

また子どもの貧困の根源にある、親の貧困対策について、自治体としてできるだけことをやるべきだと考えます。その1つとして、役場職員の40%にも達する臨時職員の待遇改善を行うべきだと考えます。

船舶運航事業会計予算案

10番 名嘉 實 議員

本予算案にも例年同様、米軍車両及び米兵の航送計画が組み込まれています。私は船舶運航事業で米軍車両及び米兵の航送をしないよう求め、反対し続けてきましたが、本予算案についても、同様の理由で反対します。

1月26日、米軍は海兵隊の大規模訓練に使用する物資運搬のために、LCU米陸軍揚陸艇2隻を伊江港に入港させました。同日の本部

政府は財界の要請に従い、安上がりの労働力を供給するために、労働法の改悪を続けてきましたが、労働法の改悪によって、所得の格差が拡大しています。村としては、臨時職員の待遇改善が貧困層の拡大防止に欠かせない課題だと考えます。本予算案にも自衛官募集業務委託費が計上されました。政府は、昨年4月新たな日米防衛協力のための指針、新ガイドラインに合意し、その実行法である安保法制、戦争法を強行成立させました。

戦後の憲法解釈を180度転換して、集団的自衛権の行使を可能とし、世界中でアメリカとともに戦争できる体制をつくりました。本年度の国の軍事費はF-35ステルス戦闘機6機で1,084億円、オスプレイ4機で447億円の導入をはじめ、当初予算としては戦後初めて5兆円を超え、軍費が拡大される計画であります。戦後70年を過ぎた今、日本は戦争か平和かを選択する岐路に立たされていると言われます。我が国が再び、戦争に突き進まないために、政府の戦争政策に反対していくために、自衛官募集業務委託費は返上することを求め、反対討論とします。

発1便で、海兵隊約90人を選び、下船した海兵隊が基地まで行軍し、村民を驚かせました。この件に関して、議会は米軍に対する抗議決議と、政府関係機関に対する意見書を採択し、申し入れも行いました。

私は海兵隊の行軍をなくすためにも、フェリーによる米軍の航送はやめるべきではないかと質疑しましたが、村長は「一般旅客運送法で乗船は拒否できない」と答弁しました。米軍を一般旅客と同様に見る人は、一体どのぐらいいるのでしょうか。白を黒と言っていることと、全く同じ見解だと私は思います。本予算案でも米軍の航送も含まれていますが、米軍の航送計画の撤回を求め、反対討論とします。

U2014と2022」二隻が入港し、村民の足であるフユリーの出港に遅れが生じたこと等に意見書・抗議決議を議会で全会一致で原案可決し、全議員が村長と共に沖縄防衛局、外務省沖縄事務所に outwarding しております。今後、事件・事故・被害等がないよう切に願うものであります。

また新規事業として10月に開催される「第5回世界のウチナンチュ大会」に参加される村出身者の方々を、一堂に島に招いて交流会の実施が計画されており、故郷での親睦交流が図られるものと期待しております。優良子牛自家保留への助成、村民の健康増進の一環として野球場の改築などが予算化されております。その他、多岐にわたる事業の予算化が図られておりますがここでは割愛をさせていただきます。

15項目に及ぶ主要施策が掲げられており、島袋秀幸村長の掲げる村の将来像「互いに支え合い、誇りをもって、豊かな気持ちで暮らし続けられる村」の実現に向けて村当局・議会が一味同心で邁進しようではありませんか。

以上、申し上げて、平成28年度伊江村一般会計予算に対する賛成討論といたします。

と連携を図りながら、早期の就航を目指して取り組んでいるとのことであり、1日も早い新船の就航を望むところであります。

また、平成27年度より乗船券購入時の券売が、システムモデル事業とし、コード読み取り式の券売となり、これまでよりスムーズな券売がなされ、平成28年度より伊江村ホームページ拡充事業で券売機を設置し、さらなる券売のスリム化が図られるものと期待しているところであります。今後とも海事職、企業職、共同のもと健全運営、安全運航を最優先に努めていただきますようお願いを申し上げ、平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算(案)に対する賛成討論といたします。

船舶運航事業会計予算案

5番 内間 広樹 議員

昭和48年より、県内初のフェリーいえしまが就航し、2年後の昭和50年にフェリーぐすくが就航、県内離島で例のないフェリー2船体制による、安全運航で今日まで村民生活を支え、また村産業振興に寄与してきています。平成24年3月よりバリアフリー化した新造船いえしまが就航し、快適な船旅を提供していますが、建造より24年目を迎えるフェリーぐすくは老朽化が見られ、代船建造が求められています。代船建造委員会では具体的に協議を重ね、沖縄振興特別推進交付金の離島航路、運航安定化支援の活用による代船建造を国、県等

予算審査特別委員会質疑

問 今年10月に、第6回「世界のウチナンチュ大会」に合わせて、世界のイージマンチュ交流招聘事業の予算計上がなされていますが、どのような計画をしているか伺いたい。

答 第6回のウチナンチュ大会が10月26日から30日までの間行われ世界各地で頑張っている皆さんが大会に参加され、伊江島でも親戚はじめ同級生、あるいは知人と、昔を思い出しながら交流を図るということを企画していききたいと思います。また、各関係者と連携を図り、おもてなしをするような気運を高めながら、全村民で迎えるような気運を醸成していきたい。

問 明るい村づくりの事業費のLEDの外灯の既設の取り換えが200個、新設で35個既設が165個になっていますが、今回で既設の取り換えが全部終わるのかどうか伺いたい。

答 既設の外灯の165基につきましては、ほぼ終わるような計画でございます。

問 それに加えて、外灯修繕の予算の中でも、球が切れた場合は、必然的にLEDの球に交換してきた経緯もありますから、他の場所等につきましては、この年度で十分に精査をして、また対応していきたいと思います。

問 畜産業費について、今回、村長の施政方針の中で、キャトルセンターの導入等について、調査検討という方針がありました。その内容について伺いたい。

答 キャトルセンターの検討等につきましては、昨年、経公委員の所管事務調査で訪ねた宮崎、それとまた別の佐賀とか、いい事例があるようございいますので、その辺の研修を踏まえながら検討していきたい。

問 3月6日はラッキョウの日が制定されて数年たっておりますが、制定して2年ぐらいはラッキョウ収穫祭なるものが開催されたように記憶しております。それ以降島独自でラッキョウの日のイベント等は開催されていないんでしょうか。

答 今回はラッキョウの値段がいい状況で推移しており、原料の調達にも苦労した面もございましてイベント対応や農家の皆さんも余裕がなかったというような状況で行なえませんでした。今後はJA、生産部会も一緒にやって、全国、県内にもっとアピールできるような形で一緒に考えていきたいと思っております。

問 土づくり支援事業で堆肥を2分の1、助成していくということ、農家の方々にとっては、大変喜ばれる事業ではないかと期待しているところですが、事業対象分と、対象外という部分もあります。一般財源も少し入れて誰が買いに来ても同じ値段で買えるような方法を、やっていただきたいと思いますがどうか。

答 今後、いろいろなこういうふうな事業を構築していくか、十分検討させていただきます。

問 以前、沖縄タイムスふるさと元気企画「いめんしより 伊江島んかい」、伊江島の歌と踊り芸能フェスティバルが開催されましたが、今年も開催するのでしょうか。

答 計画としては平成29年1月20日、22日に開催する予定でございます。ちなみに今、教育委員会の中でも予算をとっておりますが、そこは芸能を主としてやっております。商工観光課では物産展ということ、今回予算措置をしております。

問 本部港の立体駐車場の件ですが当局、村長筆頭になって、要請活動をやらないと実現できないと思っているわけですが、村長はどういうふうにご検討されているのか伺いた

答 今後は伊江村と議会が一緒になって、この本部港の立体駐車場の建設に向けて、県に要請活動をやりたいと思っておりますので、今後連携をとりながらぜひ一緒にやって本部港の立体駐車場が早目にできるように、ひとつお力添えをお願いしたいと思っております。

問 伊江村ホームページ拡充強化事業で乗船券売機を設置するということがありますが、こういった事業です

答 現在運用しております離島割引券システムモデル事業というのをしておりますが、それとあわせて、伊江村ホームページサービス拡充

化事業ということで、総務課が主ですが、公営企業もその中に入れて、取り入れていただきます。券売機を設置していきたいという事業でございいます。この券売機といいますが、JAのATMを想像していただければ結構かなと思っておりますけれども、その券売機でクレジットカード、または電子マネー、E-dyでありますとか、Suica等も利用できるような構築を今、進めておりまして、それに係る事業でございます。現在の割引システム事業とあわせて、お客さまの利便性の向上を図ってまいりたいと考えております。



▲ターミナル券売機



▲ターミナル券売機設置

問 伊江村の人口減少問題については、人口減少率3位、消滅する島2位などの不名誉な記事が新聞紙上でも取り沙汰されていますが、村当局の見解と対策を伺いたい。

答 伊江村では、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を設置し「伊江村人口ビジョン及び地方版総合戦略」の策定をはじめとする、人口減少対策に取り組んでいるところであり、去る伊江村議会の全員協議会において「戦略案」を議員皆様へお配りし、説明を申し上げたところであり、村の目指すべき将来の方向性として「働き甲斐のある仕事の創出や定住支援等により、伊江村に新しい人の流れをつくる」出会

い・結婚・出産・子育ての希望を叶える」の実現に向け、「産業・雇用」「交流・定住」「住環境・医療保健」「子育て支援・教育」の各分野で事業を展開していくことも明記をしております。

村といたしましては、現在進行中の「創生塾の開催」「不妊治療費の助成」「子ども医療費助成」「予防接種の無料化等」の継続実施や本議会に上程してございます「子育て支援金拡充」や「村営住宅の整備等、居住環境の充実などに取り組みとともに、国・県の人口減少対策、民間活力の導入も視野に入れた村独自の施策も織り交ぜつつ「誰もが未来に希望を持てる魅力ある伊江村」づくりに向け、取り組んでまいります。

問 伊江村の職員採用試験は、国、県、他市町村に比べて極端に遅いようです。本来は、本土の大学や専門学校へ進学している生徒なども受験できるような実施時期については、夏休み期間などを考えるべきだと思いますがどうか。

答 本村における「職員候補者選考試験」については、第1次試験を11月14日、2次試験を明けて

問 伊江村の職員採用試験は、国、県、他市町村に比べて極端に遅いようです。本来は、本土の大学や専門学校へ進学している生徒なども受験できるような実施時期については、夏休み期間などを考えるべきだと思いますがどうか。

答 本村における「職員候補者選考試験」については、第1次試験を11月14日、2次試験を明けて

問 伊江村の職員採用試験は、国、県、他市町村に比べて極端に遅いようです。本来は、本土の大学や専門学校へ進学している生徒なども受験できるような実施時期については、夏休み期間などを考えるべきだと思いますがどうか。

答 本村における「職員候補者選考試験」については、第1次試験を11月14日、2次試験を明けて

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

村政のここを問う!
3月定例会 一般質問



仲宗根 清美 議員

1. 伊江村の人口減少問題対策について

村長／職員と一丸となって頑張っていきたい

問 伊江村の人口減少問題については、人口減少率3位、消滅する島2位などの不名誉な記事が新聞紙上でも取り沙汰されていますが、村当局の見解と対策を伺いたい。

答 伊江村では、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を設置し「伊江村人口ビジョン及び地方版総合戦略」の策定をはじめとする、人口減少対策に取り組んでいるところであり、去る伊江村議会の全員協議会において「戦略案」を議員皆様へお配りし、説明を申し上げたところであり、村の目指すべき将来の方向性として「働き甲斐のある仕事の創出や定住支援等により、伊江村に新しい人の流れをつくる」出会

問 平成26年度沖縄振興推進交付金「一括交付金事業」を活用して、全国公募を行い、621点の中から誕生した「タッチゅん」も、平成28年4月1日で満1歳の誕生日を迎えます。

第23回伊江島一周マラソン大会後夜祭にて、初お披露目されました。そこで伺います。

①今日までのような活動がなされたか。

②全国ゆるキャラグランプリ2015にエントリーされたと聞いておりますが、開催日時及びエントリー数と、総合順位はどうなったか。その中で県内で

答 第23回伊江島一周マラソン大会を皮切りに4月、5月の第20回伊江島ゆり祭り、6月には伊江村郷友会、7月には関東伊江島城会、9月は東京都で開催されました町イチ村イチ物産フェア、11月には離島フェアへ出演してまいりました。

その他、村内の各種団体、施設で開催されています夕涼み会やイベントでも活用しています。また、民泊での離村時やイベント開催時に伊江港での観光客の送迎に

問 いろいろなところで「タッチゅん」ですが、現「タッチゅん」は手足が短くて、どうしてもアシスタントがつかないと一人ではなかなか活動できず、これの改良は可能なのかどうか。兄弟あるいは、恋人等の計画はあるのか。

答 いろいろなどところで「タッチゅん」ですが、現「タッチゅん」は手足が短くて、どうしてもアシスタントがつかないと一人ではなかなか活動できず、これの改良は可能なのかどうか。兄弟あるいは、恋人等の計画はあるのか。

問 可能かどうかでありますが、「タッチゅん」は、登録商標もされておりますので今後の検討も、いろいろとやってほしいですが、実は知念こずえさんがイメージキャラクター、「I LOVE タッチゅん」を作詞作曲しております。それを村立保育所の子供たちが、歌もダンスもできて、大変ピーアール等とくに貢献しているそうです。

このように子供たちが一生懸命「タッチゅん」を利用して活用している中で、私たち大人も今後もっと伊江島のピーアールに力を注いでいかないとけないと思



▲タッチゅんサブレ

1. 伊江島イメージキャラクター「タッチゅん」の活用について

村長／「タッチゅん」を活用して伊江島をピーアール

問 平成26年度沖縄振興推進交付金「一括交付金事業」を活用して、全国公募を行い、621点の中から誕生した「タッチゅん」も、平成28年4月1日で満1歳の誕生日を迎えます。

第23回伊江島一周マラソン大会後夜祭にて、初お披露目されました。そこで伺います。

①今日までのような活動がなされたか。

②全国ゆるキャラグランプリ2015にエントリーされたと聞いておりますが、開催日時及びエントリー数と、総合順位はどうなったか。その中で県内で

問 可能かどうかでありますが、「タッチゅん」は、登録商標もされておりますので今後の検討も、いろいろとやってほしいですが、実は知念こずえさんがイメージキャラクター、「I LOVE タッチゅん」を作詞作曲しております。それを村立保育所の子供たちが、歌もダンスもできて、大変ピーアール等とくに貢献しているそうです。

このように子供たちが一生懸命「タッチゅん」を利用して活用している中で、私たち大人も今後もっと伊江島のピーアールに力を注いでいかないとけないと思

村政のここを問う!
3月定例会 一般質問



渡久地 政雄 議員

問 平成26年度沖縄振興推進交付金「一括交付金事業」を活用して、全国公募を行い、621点の中から誕生した「タッチゅん」も、平成28年4月1日で満1歳の誕生日を迎えます。

第23回伊江島一周マラソン大会後夜祭にて、初お披露目されました。そこで伺います。

①今日までのような活動がなされたか。

②全国ゆるキャラグランプリ2015にエントリーされたと聞いておりますが、開催日時及びエントリー数と、総合順位はどうなったか。その中で県内で

問 可能かどうかでありますが、「タッチゅん」は、登録商標もされておりますので今後の検討も、いろいろとやってほしいですが、実は知念こずえさんがイメージキャラクター、「I LOVE タッチゅん」を作詞作曲しております。それを村立保育所の子供たちが、歌もダンスもできて、大変ピーアール等とくに貢献しているそうです。

このように子供たちが一生懸命「タッチゅん」を利用して活用している中で、私たち大人も今後もっと伊江島のピーアールに力を注いでいかないとけないと思

問 可能かどうかでありますが、「タッチゅん」は、登録商標もされておりますので今後の検討も、いろいろとやってほしいですが、実は知念こずえさんがイメージキャラクター、「I LOVE タッチゅん」を作詞作曲しております。それを村立保育所の子供たちが、歌もダンスもできて、大変ピーアール等とくに貢献しているそうです。

このように子供たちが一生懸命「タッチゅん」を利用して活用している中で、私たち大人も今後もっと伊江島のピーアールに力を注いでいかないとけないと思

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

問 平成6年7月施行の伊江村船舶の発着に関する規則で、通常日運航は、本部発9時・11時・15時・17時と定めて運航されているが、近年村内外多くの乗客から11時・15時本部発の間に、1便増便を切望する声が目増しに高まってまいりました。

答 周年で5航海にするの向上が図られる事は承知しております。一方、船員法による船員の労働時間の課題があります。現在も1週間当たり40時間以内の規定を超えており、時間外労働協定を締結して運用しております。近年の臨時

便等の増加により、時間外労働協定上限値にも切迫しております。また、伊江発、本部発の早い便に、人車が集申し中間の運航時には空きスペースが多く見られる現状もあり、健全経営を継続するためにも収支の面で課題が残ります。

当面は、「ぐすく」の代船建造を優先的に進め、5航海運航につきましては、変化する社会経済情勢を見極めながら検討して行く課題だと考えております。

問 実は本部港ターミナルで私はこう言われました。私たちは週に2回以上本島に渡るが、用事は午前中でほとんどが終え、毎回3時のフェリー出航まで、長い時間待つこととなり、非常に苦痛であるので、村長にお願いをして11時と15時の間に

1便運航できるように懇願されました。村民の声を代弁して、伊江村議会の議員の職責を思うと、お願いするだけではなく、実現に向け議員の立場で、粘り強く、鋭意努力しなければと強く肝に銘じたところですが、村長はこのような村民の声をどう受け止めてらるっているか。再度伺います。

答 私をよく出張等で出ますので待合室とかで見かけたときに、個人的には4時間という時間が、どういうものなのかというのも含めて、考えたりしているところでもあります。少しでも緩和できる方向性があれば、それはお互いとして知恵を出し合ひながら、いろんなところと関係もありますので、貨物もそうですし、また村内の飲食店、その辺も含めていまして、最初は答えましたが、ひとつとしては、この1日4往復の中で対応できるのであれば考えていきたいと思っておりますが、4航海については、もう非常に長い間定着をしてくているので、時刻の変更に対しての懸念も、お互いの会議の中でも、いろんな角度から検討をさせていたしまして、可能な限り、皆さんの希望に沿っていききたいというように考え方は持っておりますが、どういった方法がとれるのか、即この間に

1便を追加して、運航させるというようなことは、なかなか厳しい部分がありますが、何か他の方法でも対応できるようなことがないか、しっかりと話を聞いて、今後十分議論をしておきたいのか、今素直な気持ちであります。

問 平成7年9月の定例議会の、名嘉實議員の運航回数、通常4便から5便へ増便できないかとの一般質問に対する当時の行政の答弁は、会議録から概略を抜粋させていただきました。「毎日常時1便をふやすということであれば、その事業計画、つまり経営はどうなるのか。その辺が国において、強く指摘されているところでございます。そう簡単にはできません。ところで、必要は十分に認めております。また村民から直接、その意見も多々聞かされております。私としてもこれは今すぐやりたいのは、やまやまでございますが、その採算の面を考えると、すぐさま実施に踏み切れない状況でございます。今後、経営面を配慮しながら検討させていただきます」と答弁なさっております。

そこで、行政は継続性という観点から、増便について、もう20年が経過したが、どういふ検討をされたか伺いたい。

答 平成7年から21年経って、時代は進んできていますが、5航海にするときに、単に村長の条例上は、この時刻を規則でやればいいですが、村内外の中での部分をしっかりと議論見据えながら判断、決断をしてくような、大きな事項だと思っております。その1点目が、経営上の問題と、船員の労働環境の問題、なおかつ国のこの承認といえます。許可の問題、3つの部分があるのかと思っております。そして船員の確保、そういう船舶事業の中では、多少の人員費の増につながりますが、全体として見れば、人口増あるいは雇用の確保の面から見れば、貢献、寄与していくところだと思っております。そういう中で、平成7年に、当時の元村長が答えられたという部分は、私たちまでなかなか伝わってこなかったという部分はあります。

ただ、20年前からそういう5航海について、真剣な議論、議会の中から、そういう村民の代表として、要望があったという部分を、改めて今お聞きをしましたので、内心じくじたる部分もありますが、要望をしつかりと受け止めて頑張ってみたいなというような感じを今受けているところであります。

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

村政のここを問う!

3月定例会 一般質問



亀里 敏郎 議員

1. 船舶運航の(フェリー)1便増便について
村長／経済情勢を見極めながら検討して行く

問 JAおきなわ伊江支店が運営する肥育センター現施設は、これまで最大飼育頭数は200頭でありましたが、現在わずか10頭であります。最近給餌する飼料の改善により、牛肉の上物は98.1%と高く「伊江島牛」は村民、県内外観光客から好評で村の特産品として定着しております。セリ市開催事には毎回700パック、102万円の売り上げがあり、1時間余で完売していると伺っております。子牛価格が高値安定している中、肥育経営は厳しい事も承知しておりますが、県内有数の子牛産地(拠点産地)であり、肥育センターは肉用牛の生産振興上

重要であると同時に、これまで積み上げて来た「伊江島牛」ブランドが消えはしないか危惧しているところであり、行政はこれまで再構築に向けてJA伊江支店と協議したことはあるか、また、今後において肥育センターの必要性について、村長の考えを伺いたい。

答 JAおきなわ伊江支店が運営する肥育センターは、昭和52年に200頭規模で建設され、平成22年度までは180頭前後の肥育頭数で推移してきましたが、平成23年度頃から素牛価格の高騰により減少し、平成25年からは肥育素牛の購入ができない状況となり、現在では10頭まで減少し、その存続が危惧

される状況にあると把握しております。

再構築に向けたJA伊江支店との協議については、数回開催されていますが、具体的な打開策、要望、要望事項等が示されるまでには至っておりません。しかしながら、肥育センターの必要性については、肉用牛の生産振興上、重要事項と捉えていますので、今後も、JA本店、支店に対し存続を強く要望するとともに、村としても可能な限り、協力・支援して行きたいと考えています。また、将来的には以前、山城善彦議員から質問のあったキャトルファームやマザーステーションといった預託施設の整備検討に加え、肥育センターも含めた総合的な「畜産基地」としての建設構想も視野にいれながらJAと牛改良組合他、関係機関と連携を図りながら再構築に向け協議していきたくと考えております。

問 JA伊江支店の協議されてはありますが、具体的な打開策、要望、要望等が示されるまでには至っておりませんという中で、JA側からすると、行政サイドに何回も話し合いもしたよという事で聞いておりますけれども、JA自体が

打開策、要望を聞いていないと。述べていないというのには今驚いております。であれば、どのような協議をされたのでしょうか。お伺いします。

答 実際には、肥育センターの検討プロジェクト会議等が開催されており協議の場とか、支店運営委員会の中でもそういった話もあったかと思えます。その中で、JAサイドとしても何らかの支援とか、その辺のことができないかという案は示されておりますが、それを正式な要請という形で上げるまでには至ってなかったという答弁でございます。

問 これまで具体的な話がなかったというところであります。二、三日前に支所、支店におきまして幹部職員の方から、100頭規模の計画をして、繁殖から肥育までの一貫経営を希望しているというような話も出てくるわけです。幹部職員の中では、伊江村は県内有数の繁殖牛の産地であり、セリ市場の運営とともに肥育センターは肉用牛振興上重要であると。またセンターから出荷される伊江島牛は、地域住民県内外観光客から好評で、伊江村の特産品としても定着しており、直近の肥



▲JA畜産センター

育センター出荷牛の好成績は畜産農家の大きな励みになっていきます。肥育センターの再構築になりますと、数千円の改築費用にも踏まえて、キャトルファーム、マザーステーションといった計画もあるようですので、ぜひこの肥育センターの存続を当局としても進めていただきたいという事を申し上げて終わりますが、村長の意見を伺いたい。

答 今後は議論を加速させながら、肥育センターの存続を含め関係機関とも協力をしながら、一生懸命努力をしていきたいと思っております。

問 総合運動公園全体計画の中にある屋内練習場が近々完成し、村民の皆様がその施設の利用を待ち望んでいる状況である。また、野球場の整備に向けても事業スケジュールのとおり進んでいると聞いている。しかし、総合運動公園全体実施計画調査報告書の管理運営計画に大会や合宿等の誘致を行うとあり、その合宿所の整備として新たな施設整備の検討とあるがどのような計画があるかどうか伺いたい。



▲渡嘉敷村合宿施設

総合運動公園全体計画の中にある屋内練習場が近々完成し、村民の皆様がその施設の利用を待ち望んでいる状況である。また、野球場の整備に向けても事業スケジュールのとおり進んでいると聞いている。しかし、総合運動公園全体実施計画調査報告書の管理運営計画に大会や合宿等の誘致を行うとあり、その合宿所の整備として新たな施設整備の検討とあるがどのような計画があるかどうか伺いたい。

答 本村のおきなわの名木百選に登録されている名木は、平成14年度に登録された上地太郎氏生誕の地とされているガズイマールをはじめ、中央公民館前のタブノキ、ニーバンガズイマール、大城盛朴氏宅ガズイマール、島袋満英氏宅フクギの5カ所があります。樹齢300年余の

そのことから村では、名木保全対策として、個人所有者のみでの管理保全は困難であると考え、平成25年度に名木保全としてニーバンガズイマール、大城盛朴氏宅ガズイマールの周辺用地を購入し、必要な名木保全対策を講じてきたところであります。



▲上地太郎生誕の地ガズイマール



▲大城盛朴氏宅ガズイマール

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

1. 総合運動公園計画に伴う、合宿需要を受け入れる宿泊施設は

教育長／北部連携促進事業等民間企業の誘致など施設整備に向けて取り組んでいきたい



島袋 勉 議員

2. おきなわの名木の保護管理状況は

村長／看板設置や除草管理・倒木防止対策を行う



▲渡嘉敷村合宿施設内

問 伊江村総合運動公園整備実施計画が策定され、現在屋内運動場の整備工事が進められていますが、以下の点について伺いたい
①現在その予定地約4万平方メートルの地権者に対して、事業計画や用地買収に関する説明会の実施状況について。
②農業振興を村政施策の柱とする農地への、陸上競技場設置への村当局の所見について。
また、平成27年12月定例議会にて、一般質問の総合運動公園人口芝採用の、その後の意見の集約について
1つ目の総合運動公園整備計画については、平成26年10月16日に地権者の皆さんに説明会を実施し、参加できなかった地権者の方々には個別に

事業説明を申し上げ、御理解と御協力をお願いいたしております。土地買収に関する説明会については、現在、不動産鑑定評価業務を実施しているところであり、用地単価の査定調査が完了いたしましたら、早急に地権者の皆様に御説明、御相談をしていきたいと考えております。
2つ目の総合運動公園整備計画については、伊江村国土利用計画、農村総合整備計画等において観光レクリエーション地域として位置づけられ、計画地の約6割が農振白地地域となっており、B&G海洋センターや青少年旅行村のスポーツ施設の集約化による利用者の利便性の向上、効率的な管理の一元化を図られるなど、立地条件等を考

次に、人工芝採用のその後の意見の集約について、庁内の野球場設計検討会議での確認及び再度、村内の野球指導者や県内の野球、ソフトボール指導者に人工芝施設について意見を伺いましたが、特に問題はないとのことでありました。また、議員が懸念されていた、施設の温度上昇につきましては、沖縄県より夏季時の気温が高い11施設のヒアリング調査を実施し特に問題はないとのことでありましたので、今後の基本実施設計で多くの関係団体等の意見を反映し、利用者等が快適に利用できる施設整備に向けて努めていきたいと考えております。

問 地権者の説明の中で、代替地の確保をお願いする地権者もございましたので、その辺につきましては、村としては最大限尊重し、これから取り組んでいきたいと考えてございます。今後とも地権者の皆様には、丁寧な御説明するため、個別訪問等も行っていただきながら協力をお願いいたします。
二つ目の伊江村国土総合整備計画等、それと村リエーションの地域に位置づけられるとあります。6割が農振白地地域となっており、このことですが、残りの4割に関しては農振地ということになるかと思っておりますが、関係機関と調整をされているのかどうか伺いたい。



▲総合運動公園予定地

答 村の将来に向けて、拠点施設になる計画に伴って農地を消費するわけですから、基本的にはその農家の皆さんが引き続き、今の状況で農業ができるように、村としては、協議をしながら全面的に意向を踏まえながら、この事業の実施に当たっていききたいと考えております。

問 農地が減るということとは今後農業経営を見直さなければならぬということになります。農業振興を村の施策の柱に掲げている村としては、最大限に努力をする責任があるのではないかと私は思います。

意いたしまして整備計画を推進しているところであり、限られた村土のなかで、一団の用地を確保することができない本村にとつて、農用地を含む整備計画は窮余の選択であることを御理解いただき地権者の皆さん、関係機関への丁寧な事業説明することが重要であるものと考えておりますので、誠意をもって対応していきたいと考えております。

これまで道路拡張やあるいは緑地帯、それと浸透池を分筆して売ってくれというのとは、ちよつと性質が違ふと思う。まるまる一筆を協力していただくことになるので、今後この説明会を開くにあたって、地権者宅に向いて、事業の説明をしつかりやっていただきしたいと思うが、いかがでしょうか。

議決の結果

平成28年第2回定例会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第29号	北部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約の変更について	村長	3月9日	原案可決
議案第30号	伊江村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第31号	伊江村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第32号	伊江村障がい者自立支援協議会設置条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第33号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第34号	伊江村条例の用語等の統一に関する措置条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第35号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第36号	伊江村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第37号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第38号	伊江村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第39号	伊江村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第40号	伊江村子育て支援金に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第41号	伊江村健康づくり推進協議会設置条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第42号	沖縄県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の増加及び規約の変更について	村長	3月10日	原案可決
議案第43号	伊江村村民レク広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第44号	伊江村コミュニティー施設の指定管理者の指定について	村長	3月10日	原案可決
議案第45号	伊江村体育施設の設置及び管理に関する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第46号	村営西崎第2地区土地改良事業計画変更について	村長	3月10日	原案可決
議案第47号	伊江村教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
意見第2号	沖縄県の道路網の整備促進に関する要望決議	議員	3月18日	原案可決
意見第3号	県内各離島の港湾整備と港湾環境の整備に関する要望決議	議員	3月18日	原案可決
意見第4号	日米地位協定の見直しに関する要望決議	議員	3月18日	原案可決

議決の結果

平成28年第3回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
報告第2号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について	村長	3月29日	原案報告
報告第3号	青少年旅行村駐車場整備工事の専決処分の報告について	村長	3月29日	原案報告
報告第4号	伊江村多目的屋内運動場新築工事(建築)の専決処分の報告について	村長	3月29日	原案報告
報告第5号	伊江村多目的屋内運動場新築工事(電気)の専決処分の報告について	村長	3月29日	原案報告
報告第6号	伊江村多目的屋内運動場新築工事(機械)の専決処分の報告について	村長	3月29日	原案報告
議案第48号	平成27年度伊江村一般会計補正予算(第9号)	村長	3月29日	原案可決
議案第49号	平成27年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	村長	3月29日	原案可決
議案第50号	平成27年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	村長	3月29日	原案可決
議案第51号	伊江村立聖苑設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月29日	原案可決
意見書第5号	米軍人による女性暴行事件に関する意見書	議員	3月29日	原案可決
決議第2号	米軍人による女性暴行事件に関する抗議決議	議員	3月29日	原案可決

議決の結果

平成28年第4回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
意見第6号	米軍属による女性遺体遺棄事件に関する意見書	議員	6月3日	原案可決
決議第3号	米軍属による女性遺体遺棄事件に関する抗議決議	議員	6月3日	原案可決

議決の結果

平成28年第1回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
承認第1号	専決処分した伊江村税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	村長	2月5日	原案承認
議案第1号	多目的屋内運動場備品購入(スポーツ備品)の契約について	村長	2月5日	原案可決
議案第2号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	2月5日	原案可決
議案第3号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	2月5日	原案可決
議案第4号	伊江村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	2月5日	原案可決
議案第5号	平成27年度伊江村一般会計補正予算(第7号)	村長	2月5日	原案可決
議案第6号	平成27年度伊江村診療所特別会計補正予算(第5号)	村長	2月5日	原案可決
議案第7号	平成27年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	村長	2月5日	原案可決
議案第8号	平成27年伊江村水道事業会計補正予算(第1号)	村長	2月5日	原案可決
議案第9号	平成27年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第2号)	村長	2月5日	原案可決
意見書第1号	米軍艦船伊江港入港に関する意見書	議員	2月5日	原案可決
決議第1号	米軍艦船伊江港入港に関する抗議決議	議員	2月5日	原案可決

議決の結果

平成28年第2回定例会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について氏名:玉城 美知代	村長	3月9日	原案適任
報告第1号	平成28年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について	村長	3月9日	原案報告
同意第1号	固定資産評価審査委員の選任について氏名:東江 進清	村長	3月9日	原案同意
同意第2号	固定資産評価審査委員の選任について氏名:上間 建雄	村長	3月9日	原案同意
同意第3号	固定資産評価審査委員の選任について氏名:知念 和幸	村長	3月9日	原案同意
認定第1号	村道の路線認定について	村長	3月9日	原案認定
議案第10号	平成28年度伊江村一般会計予算	村長	3月18日	原案可決
議案第11号	平成28年度伊江村診療所特別会計予算	村長	3月18日	原案可決
議案第12号	平成28年度伊江村国民健康保険特別会計予算	村長	3月18日	原案可決
議案第13号	平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算	村長	3月18日	原案可決
議案第14号	平成28年度伊江村水道事業会計予算	村長	3月18日	原案可決
議案第15号	平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算	村長	3月18日	原案可決
議案第16号	平成27年度伊江村一般会計補正予算(第8号)	村長	3月10日	原案可決
議案第17号	平成27年度伊江村診療所特別会計補正予算(第6号)	村長	3月10日	原案可決
議案第18号	平成27年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	村長	3月10日	原案可決
議案第19号	平成27年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	村長	3月10日	原案可決
議案第20号	平成27年度伊江村水道事業会計補正予算(第2号)	村長	3月10日	原案可決
議案第21号	平成27年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第3号)	村長	3月10日	原案可決
議案第22号	伊江村行政不服審査会設置条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第23号	伊江村行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第24号	伊江村特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第25号	伊江村暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第26号	伊江村課設置条例の制定について	村長	3月9日	原案可決
議案第27号	伊江村過疎地域自立促進計画の策定について	村長	3月9日	原案可決
議案第28号	伊江辺地に係る総合整備計画の変更について	村長	3月9日	原案可決

日米地位協定の見直しに関する意見書

我が国には、日米安全保障条約に基づく日米地位協定によって、31の都道府県に131施設、約10万2千ヘクタールの米軍基地施設が所在している。

米軍基地を抱える全国の町村は、我が国の防衛、安全保障の一翼を担う一方、米軍基地の存在による住民生活への過重な負担を抱えている。

特に、全国の米軍専用施設の約74％を占める沖縄県においては、米軍基地から派生する事件・事故や航空機騒音、環境問題、並びに米軍人・軍属等による犯罪が、戦後70年を経た今日においてもなお後を絶たず、地域住民の生活に多大な影響を及ぼしている。

日米地位協定は、日米を取り巻く安全保障体制や我が国の社会環境が大きく変化しているにもかかわらず、昭和35年に締結されて以来、50年以上もの間、1度も改正されていない。

これまで運用改善や環境補足協定の締結がなされてはいるものの、米軍基地から派生する様々な事件・事故等から国民の生命・財産と人権を守るためにはまだ不十分で、根本的な解決のためには日米地位協定を抜本的に見直す必要がある。

よって、日米地位協定を抜本的に見直しされるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年3月18日
沖縄県国頭郡伊江村議会

宛 先

内閣総理大臣 内閣官房長官 沖縄防衛局長
外務大臣 沖縄及び北方対策大臣
防衛大臣 外務省沖縄特命全権大使

沖縄県の道路網の整備促進に関する意見書

沖縄県においては、昭和47年の復帰以降4次にわたる振興計画により着実に道路整備が進められ、道路は、県民の暮らし、経済、文化等、あらゆる分野の向上・発展に大きな役割を果たしてきたところである。

また、平成15年には沖縄都市モノレールが開業したものの、依然として陸上交通のほとんどが道路交通に大きく依存している状況である。

このため、那覇空港・那覇港等の広域交流拠点に連絡する幹線道路ネットワークの構築及び慢性的な都市部の交通渋滞への対応とともに、観光振興・地域活性化の支援、災害対策など、増大・多様化する交通需要への対応が求められており、なお一層の道路網の体系的整備と質的向上が必要である。

については、今後とも「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に基づき、引き続き必要な道路が計画的かつ着実に整備されるよう、下記事項について特段のご配慮を強く要望する。

記

1. 那覇空港等広域交流拠点や主要拠点へのアクセス性を向上させ、産業振興や人、物の交流の迅速化を図るため、那覇空港自動車道（小禄道路）、沖縄西海岸道路、名護東道路（数久田～許田間）、南部東道路及びスマート・追加インターチェンジ等ハシゴ道路ネットワークの早期整備
2. 都市部における交通渋滞を緩和し、環境改善や健全な市街地の形成を図るため、国道329号西原バイパスを始めとする幹線道路の整備や主要交差点の改善整備
3. 中北部地域までの定時・定速の公共交通ネットワークを形成するため沖縄都市モノレールについて、首里駅から沖縄自動車道までの延長整備促進
4. 離島における生活圈域の広域化、一体化を促し、定住化の促進を図るため離島架橋等の整備促進
5. 沖縄は台風常襲地帯であり、過去の電柱倒壊等の甚大な被害を踏まえ、防災機能の向上を図るとともに、質の高い観光・リゾート地の形成を図るための無電柱化、美しい道路景観の創出・保全、良質な道路緑化等の推進

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年3月18日 沖縄県国頭郡伊江村議会

宛 先 内閣総理大臣 財務大臣 沖縄及び北方対策大臣
国土交通大臣 内閣官房長官 沖縄総合事務局長

県内各離島の港湾整備と港湾環境の整備に関する意見書

本県では、これまで離島地域の活性化を図るため各種の離島振興策が推進され、県内各離島の港湾整備も年次的に進められ、着実に離島住民の暮らしの向上・地域の振興発展に大きく寄与してきているところである。

しかしながら、県内各離島の港湾においては、それぞれの置かれた位置、環境等の違いにより、依然として、解決すべきさまざまな課題を有している。

普段からの港湾内のうねり対策、夏場の強風による港湾内静穏度の悪化、相次ぐ台風接近時の港湾内のうねりの長期化、季節風による防波堤の越波、季節風の波浪等によるフェリー欠航、荷役作業及び船舶係留等への影響など、離島住民の日常生活に大きな支障が生じている。

また、離島の港湾は、地域間交流や島の持つ魅力を素材とした観光の促進をはじめ、物流の高速・効率化等、離島の産業振興に大きな役割を果たしており、更なる機能向上が求められている。

このように、県内各離島の港湾は、離島住民の生活と産業振興の根幹を成しており、これまでも県におかれでは、県内各離島の港湾整備に御尽力されているところではあるが、離島振興にとって重要な役割を果たす港湾の整備をはじめ、港湾の荷さばき場や立体駐車場の整備等を含め港湾の環境整備を一日も早く実現されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年3月18日 沖縄県国頭郡伊江村議会

宛 先 沖縄県知事 沖縄県議会議長



研修報告



●常任委員長・副委員長実務研修会 議会のあり方について学ぶ

沖縄県町村議会議長会 事務局長 石垣安秀氏を講師に常任委員会における委員長発言の取り扱いや、常任委員長が当初予算案修正案の発議者によることについて等、9項目に渡り研修が行われた。
また、後半の研修では、他都道府県の事例を踏まえ意見交換が行われた。今回の研修で学んだことを本村の議会でも活かし、今後の活動に取組んでいきたい。



▲町村議会常任委員研修会

H28年
5月12日

新企画

ワッタウムイ

「ワッタウムイ」とは伊江島の方言で「私たちの思い・考え・真心・愛情」という意味。島を想う方々や地域で活躍する人物などにスポットを当て新企画として掲載していきますので楽しみに

新入生の皆さん頑張れー!



31年間続くイーゾマ郷友会主催で開催された北部地区新入生激励会

みんなでフラワーアイランドづくり



港周辺の装飾で観光客を迎える商工会女性部

健康一番



今年は北海道の知内町と対戦。結果は、知内町 (2,693人 57.3%) VS伊江村 (1,904人 40.5%)

伊江島をキレイに



村民全体でゴミゼロクリーン作戦

米軍属による女性遺体遺棄事件に関する意見書

4月28日から行方不明となっていたうるま市在住の20歳の女性が、5月19日恩納村の雑木林で遺体となって発見された。沖縄県警は同日、遺体遺棄の容疑で、嘉手納基地で働く元海兵隊員で米軍属の男を逮捕した。その後、容疑者は女性暴行や殺害についても供述しているとの報道がなされている。

今回の事件は、将来に夢を抱く若い女性の尊い命を奪うという極めて残虐で凶悪な事件であり、親族や友人、関係者、さらに沖縄県民に大きな衝撃と不安を与えるとともに深い悲しみと激しい怒りの声が広がっている。

沖縄県民は、戦後70年余を経た今もなお、基地あるがゆえに多くの犠牲と過重な負担を強いられており、今年3月にも米軍人による女性暴行事件が那覇市内のビジネスホテルで発生したばかりであった。

本村議会は、米軍による事件・事故が発生するたびに抗議を行ってきたものの、網紀粛正などの取り組みの実効性は全く上がっておらず、またしても県民が犠牲となる凶悪事件が発生したことは断じて許せるものではなく、激しい憤りを覚えている。

日米両政府は、こうした凶悪な事件が戦後70年余も幾度となく繰り返されている事態を深刻に受け止め、これ以上の沖縄県民の犠牲を断ち切るべく、実効性ある抜本的な対策を講じるべきである。

よって、本村議会は、県民の人権と生命、財産を守る立場から、今回の米軍属による女性遺体遺棄事件に関し、渾身の怒りを込めて厳重に抗議するとともに、関係機関に対して、下記事項の徹底、実現を強く要求する。

記

1. 遺族への謝罪並びに完全な補償を行うこと。
2. 米軍人・軍属等の網紀粛正と人権教育を徹底するとともに、実効性のある抜本的な再発防止策を講じ公表すること。
3. 日米地位協定に規定されている米軍属の管理体制と責任の所在を明らかにすること。
4. 基地の整理・縮小を含めた日米地位協定の抜本的な見直しを行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月3日
沖縄県国頭郡伊江村議会

宛 先

内閣総理大臣 防衛大臣 沖縄防衛局長
内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣
外務大臣 外務省沖縄特命全権大使

議会の活動

平成28年4月

- 14日：第72回伊江村青年会定期総会(議長)
 17日：アーニーパイルセレモニー式典(議長)
 19日：「伊江島ゆり祭り&ゲートボール大会」(議長)
 20日：イージマ郷友会新高校生激励会(議長)
 21日：芳魂之塔平和祈願祭(全議)
 21日：伊江村婦人会定期総会(議長)
- 23日：第21回伊江島ゆり祭りオープニング(全議)
 27日：伊江村多目的屋内運動場落成式(全議)
 28日：伊江村老人クラブ連合会総会(全議)
 28日：沖縄振興拡大会議(議長)
 28日：北部地域における基幹病院整備に関する要請(議長)
 28日：伊平屋・伊是名架橋建設に関する要請(議長)



▲伊江村多目的屋内運動場落成式



▲芳魂之塔平和祈願祭 献花を捧げる島袋議長

平成28年5月

- 8日：平成28年度北部振興会第1回総会(議長)
 10日：子牛畜産共進会(全議)
 12日：沖縄県町村議会常任委員長・副委員長研修会
 (正・副常任委員長)
 19日：伊江村商工会通常総会(議長)
 24日：北部町村議会議長会第1回定期総会(議長)
- 28日：第24回伊江村チャリティーなつメロの夕べ(議長)
 29日：町村議会議長・副議長研修会(6月1日まで)
 (議長・副議長) 東京
 31日：伊江村人材育成会総会(全議)



▲子牛畜産共進会



▲第24回伊江村チャリティーなつメロの夕べ
議会代表で熱唱する島袋議長

議会の活動

平成28年3月

- 3日：議会運営委員会、全員協議会
 5日：北部市町村議会議長会第4回定期総会(議長)
 5日：平成28年北部広域市町村圏事務組合議会定例会(議長)
 8日：第2回伊江村議会定例会(18日まで)
 12日：伊江中学校卒業式(全議)
 23日：2小学校卒業式(全議)
 25日：海外移住者子弟研修報告会(議長)
 29日：第3回伊江村議会臨時会(全議)
 31日：伊江村役場退職者辞令交付式(議長)



▲伊江中学校卒業式



▲伊江小学校卒業式



▲西小学校卒業式

平成28年4月

- 1日：人事異動に伴う辞令交付式(議長)
 1日：北部市町村議会議長会臨時総会(議長)
 1日：平成28年北部広域市町村圏事務組合議会臨時会(議長)
 1日：FM本部サテライト伊江島開局式典(全議)
 6日：平成28年度名桜大学入学式(議長)
 8日：2小学校入学式(全議)
 9日：第24回伊江島一周マラソン大会(全議)
 11日：さとうきび製糖終了報告会(全議)
 11日：農産物緊急灌水車お披露目式(議長)
 12日：ユナバチク壕跡記念碑除幕式(議長)
 13日：新任教職員歓迎会(全議)



▲新任教職員歓迎会